

「メディア教育研究」(第4巻第1号)の刊行にあたって

「メディア教育研究」は、平成16年4月に独立行政法人に移行したのを機に刊行を始めた学術研究誌として、多様なメディアを高度に利用して行う教育とその研究開発に関する学術研究上の成果を、論文、研究資料、研究開発速報などとして掲載しております。

このたび、「メディア教育研究」(第4巻第1号通巻7号)を刊行いたしました。この号では、「FD(ファカルティ・ディベロップメント):大学教員の教育方法の改善への取り組み」を特集テーマとしており、このテーマに関する6件の招待論文を掲載することができました。大学教員の教育力の向上の重要性については中央教育審議会や教育再生会議で議論され、教育力向上のための取り組みであるFDの義務化が提言されています。そのため各大学ではFDに関する関心が高まっておりますので、FD特集号を発行し、FDの基本的な考え方、国内外の事例、ICT(情報コミュニケーション技術)を活用したFD、今後の展開等を紹介しております。このFD特集号がFDに関心を持ち、実践されている多くの読者にとって参考になることを期待しています。

また、本号には、投稿された原著論文として1件及び展望論文として1件掲載しております。

本号の論文等をご覧いただきわかりますように、この「メディア教育研究」が多様なメディアを高度に利用して行う研究とその研究開発に関する学術研究誌として認められつつあります。これは、この分野の関係者のご関心の高さとご協力、ご支援のお陰と感謝しております。ご寄稿いただいた方々をはじめ関係者に厚くお礼申し上げますとともに、様々な分野でこのような課題に関わる読者の方々に参考となれば幸いです。

本センターとしましては、今後もこの「メディア教育研究」の刊行とその充実を図りたいと考えております。様々な研究成果の公表の場として利用していただき、教育・研究者が研究成果を共有することによって、この学術研究誌が我が国の教育改革の一端となることを願っております。今後もより多くの研究者が投稿されると共に、より多くの読者に利用されることを期待しております。

今後ともどうぞよろしくご支援賜わります様お願い申し上げます。

平成19年9月

独立行政法人メディア教育開発センター
理事長 清水 康 敬